



2018年
2月15日
No.A17-10

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2018年1月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

i)1月16日(火)、梅本 和義 (TPP 首席交渉官)「TPP-11 交渉の現状と見通し」(於:ホテルオークラ)



<要旨>

米国が TPP 交渉からの脱退を表明した後、新たな環太平洋パートナーシップ(TPP-11)協定を策定する日本の戦略や新協定に関する各国間の協議の状況、協定の重点的内容や経済的な効果などについて話された。(講演はオフレコで行われた)

ii)1月25日(木)、秋葉 剛男 (外務事務次官)「2018年の日本外交の展望」(於:ホテルオークラ)



<要旨>

日米関係、中国や韓国を含む近隣諸国との関係、経済外交の推進、地球規模課題への対応、中東の平和と安定への貢献、インド太平洋戦略などの重要な項目を取り上げつつ、今後の日本外交をいかに展開していくかについて話された。(講演はオフレコにて行われた)。

(2) 講演会

1月26日(金)、奥田 紀宏(前駐サウジアラビア大使)「最近のサウジアラビア情勢」
(於:フォーリンプレスセンター)



<要旨>

奥田前大使は、親欧米的且つ穏健的な外交政策をとる国であったサウジが、良い意味でも悪い意味でも活力にあふれ現状打破を目指す国に変化している様を、大使自身の2度のサウジ駐在経験を紹介しつつ説明した。また、こうした動きの背景には、ムハンマド皇太子の登場という要因もあるが、それ以上にサウジをめぐる国際情勢が変化したことへの言及がなされた。奥田前大使は、この変化には、治安、外交、内政上等のリスクはあるが、サウジが生き残りをかけて行っているヴィジョン2030の方向性は前向きに評価すべきで、これを日本を含む国際社会が支えることに意義があると総括した。

(3) その他の活動

・1月22日、中東調査会にて、ムハンマド・カマル・カイロ大学政治学教授との意見交換会を行った。海保 真人(毎日新聞社論説委員)、後藤 文彦(外務省 中東アフリカ局 中東第1課)が参加した。また中東調査会からは、中島主席研究員、金谷研究員、西舘研究員が参加した。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東分析レポートの発行(会員限定)

No.R17-10「トルコ在住シリア人の現状認識」
(高岡上席研究員、1月18日)

<要旨>

シリア紛争が長期化する中、一般のシリア人については移民・難民として国外に流出したり、生活水準が低下して困窮化したりするなどの問題が生じている。その一方で、彼ら自身が実際にどのように生活し、どのように現状を認識しているかについて、客観的かつ学術的に信頼に足る情報はなかなか発信されていない。この度、当会高岡上席研究員が参加した、日本学術振興会の「中東の紛争地に関係する越境移動の総合的研究：移民・難民と潜入者の移動に着目して」(課題番号 16H03307) 事業において、トルコの調査機関を通じてトルコ在住のシリア人を対象に実施した世論調査の結果が公開された。これについて、高岡上席研究員が分析レポートとして取り纏めた。

※内容はホームページをご参照ください。

(2) 中東トピックスの発行(会員限定)

・2018年1号(2018年2月1日)

1. トルコ：トルコ軍のシリア北部侵攻

2. シリア：ソチで「国民対話会合」開催
 3. エジプト：大統領選挙にシーシー大統領とガッド党党首が立候補
 4. イラン：抗議活動と議会による予算案の修正
 5. パレスチナ：悪化する米国との関係
- ※内容はホームページをご参照ください。

(3) 中東かわら版の発行

- ・No.147「イラン：革命防衛隊が抗議活動の鎮圧を宣言」(村上研究員、1月9日)
- ・No.148「サウジアラビア：抗議活動を行った王族11人の拘束」(村上研究員、1月9日)
- ・No.149「エジプト：大統領選挙日程の発表」(金谷研究員、1月9日)
- ・No.150「チュニジア：全国で物価上昇に反対する抗議・暴動」(金谷研究員、1月12日)
- ・No.151「エジプト：内閣改造(第4次イスマーイール内閣)」(金谷研究員、1月15日)
- ・No.152「イラン：米国による対イラン制裁解除の継続と核合意修正の要求」(村上研究員、1月15日)
- ・No.153「パレスチナ：米国が国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)支援を一部保留」(中島主席研究員、1月17日)
- ・No.154「パレスチナ：PLO中央委員会の開催」(中島主席研究員、1月17日)
- ・No.155「ヨルダン：在ヨルダン・イスラエル大使館再開で合意」(中島主席研究員、1月19日)
- ・No.156「シリア：アメリカの介入も長期化の見通し」(高岡上席研究員、1月22日)
- ・No.157「シリア：トルコ軍がアフリーンに侵攻」(高岡上席研究員、1月22日)
- ・No.158「エジプト：シーシー大統領が大統領選への立候補を表明」(金谷研究員、1月23日)
- ・No.159「モロッコ：内閣改造(第2次ウスマーニー内閣)」(金谷研究員、1月24日)

- ・No.160「米国：ペンス副大統領の中東歴訪」(中島主席研究員、1月25日)
 - ・No.161「アフガニスタン：「イスラーム国」がNGOを襲撃」(イスラーム過激派モニター班、1月25日)
 - ・No.162「イエメン：南イエメン移行評議会がアデン市を制圧」(高岡上席研究員、1月31日)
- ※内容はホームページをご参照ください

3. その他

(1) 要人往来

- ・1月14日、河野外相はアラブ首長国連邦を訪問し、ムハンマド・アブダビ皇太子を表敬した。2国間関係の強化について協議、北朝鮮を含む東アジア情勢及び中東地域情勢について意見交換を行った。また、国際再生可能エネルギー機関(IRENA)第8回総会に出席した。